表裏一体
HYOURIITTAI

菜園場内の道路

時間を決めて車が入れないように道路を封鎖し、
道路に遊具やゲーム遊びなどをする。

菜園場内の店

すべての物事は表裏一体の関係である。

二つのものは、密接で切り離すことはできず、相手の存在によって、初めて自分の存在が完全になる。

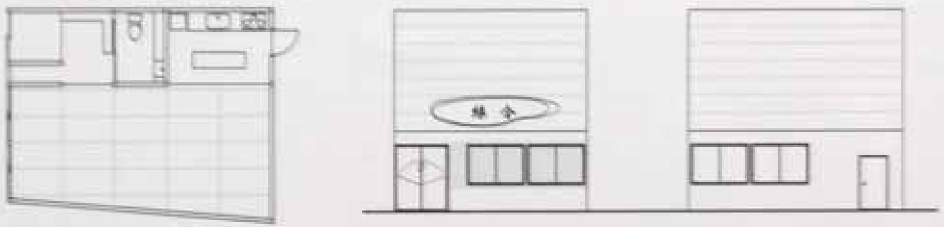
子どもと老人も、この菜園場で、この「居場所」で、この表裏一体の関係が生まれる。

居場所となる 集会場『縁合』

一人の老人は一つの図書館

図書館の4つの機能

[収集] —— 老人の集会・コミュニケーション
[整理] —— 知識の整理・きちんとする一礼儀を学ぶ
[保存] —— 知識の保存・残す、次世代へ伝える　→ 子供の心身を成長させる
[提供] —— 場所の提供・老人・子供の居場所



平面図 1/100　　東立面図1/100　　西立面図 1/100

今現在高知市内に子供たちの居場所がなくなってきている。
私たちは高知の商店街の中でも有名である、菜園場を新たな居場所として提案します。
菜園場は小学校から約200mの場所に位置し、近隣には住宅マンションなどが多く、
また高齢者も多く住みやすい町となっている。
今の時代、高齢者は隔離される傾向にあり、社会の中での役割がなくなってきている。
また、核家族化が進み祖父母と一緒に暮らす子供も減少してきている。
そこで菜園場を使い、子供の遊び相手という形で高齢者に社会での役割を与えるとともに、
子供とのコミュニケーションをとってもらいたい。
老人は「一人の老人は一つの図書館」とも言われるほど知識を豊富に持っている。
私たちは、この老人たちの知識を次世代へ伝承するべきだと考えた。
昔の遊びや礼儀など、小学校では学ぶことのできない知識を学べる場としてこの『縁合』を提案し、
この場所を拠点として子供たちには遊びながら学んでもらいたいと思う。

菜園場の活用

菜園場商店街は歴史と再発見の街

菜園場商店街の名前は藩主の野菜畑があったことから。
以前は映画館や魚市場があり、昭和40年代までは、買い物客の切れ目がないほどの賑わいが・・・。
今は時代とともに、歴史を重ねた味わい深い町並みとなっている。